

日本海総合病院心臓血管外科に通院歴のある患者さんへ

日本海総合病院では以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本機構倫理審査委員会の承認を得て行うものです。この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合や質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	GSV 創部合併症軽減 OPCAB と On Pump Beating CABG との比較
研究の実施体制	研究責任者: 中村健 研究分担者: 桂亮太、内野英明
研究の目的	低侵襲性や周術期合併症発生低減への期待から OPCAB が選択されることは多い。しかし感染や創部離開の予防効果については一定の評価が得られておらず遠隔期予後への寄与についても明らかではない。当院では手技の均一化と安全性の観点から時間経過とともに OPCAB に OnCAB も取り入れており、これらについて比較検討を行った。
研究の対象と方法	2005年12月1日～2017年12月1日までに行った単独 CABG394例を On Pump CABG 171例(On 群)と OPCAB223例(Op 群)に分類した後方視的に検討した。
個人情報の取り扱い	研究に携わる者は、個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守する。取り扱う情報には要配慮個人情報が含まれており、情報は紙媒体及び電子媒体で記録される。記録には患者氏名は含まれないが、研究に関する情報の公表においては、個人が特定されないように配慮する。
試料・情報の保管及び廃棄の方法	(1)保存方法: 研究のために収集したデータや解析結果は、インターネットから遮断されたコンピュータの外付け USB で管理する。電子媒体は、研究終了後5年間保管する。 (2)廃棄方法: 保存期間終了後すみやかに、研究のために収集したデータや解析結果は破棄する。紙媒体は溶解あるいは細断処理し、電子媒体については再生不可能な状態に処理する。
研究の資金源等、研究に係る利益相反に関する状況	研究責任者および分担研究者に開示すべき利益相反はない。
問い合わせ先	日本海総合病院心臓血管外科 中村 健 電話: 0234-26-2001(代)